

オーデコートGエコ

■特 長

- 揮発性有機化合物量 (VOC) が非常に少なく、室内環境に配慮した水性塗料です。
- ホルムアルデヒド・トルエン・キシレンなど、各省庁での規制指針に該当する有機化合物を配合しておりません。
- 水性つや有り塗料特有の仕上がり後の粘着感が気になりません。
- 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
※オプションで抗菌・強力防かび機能も付与できます。
- 防火材料認定を取得しています。

■用 途

一般住宅、学校、幼稚園、託児所、介護施設、病院、ホテル、オフィス、レストラン、食品工場などの建物内部のコンクリート・モルタル・ボード類や鉄部、木部など

■基本性能

つや有りは JIS K 5660、つや有合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。
つや調整品は JIS K 5663 1種、合成樹脂エマルジョンペイントの規格に合格しています。

JIS K 5660 つや有合成樹脂 エマルジョンペイント	つや有り
-------------------------------------	------

JIS K 5663 1種 合成樹脂 エマルジョンペイント	5分つや有り 3分つや有り つや消し
-------------------------------------	--------------------------

防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

本商品には当社工場にて製造もしくは調色したJIS表示品と、店頭にて調色していただく為のJIS非表示品があります。
JIS表示が必要な場合はご注文時にその旨をご指示ください。

試験項目	規 格	試験結果	
		5分つや有り JIS K 5663 1種	つや有り JIS K 5660
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする	合格	合格
塗装作業性	2回塗りではけ塗り塗装作業に支障があってはならない	合格	合格
低温安定性 (-5℃)	変質しないものとする	合格	合格
表面乾燥性	常温乾燥2時間以内で表面乾燥する (23℃、50%)	合格	合格
	低温乾燥 4時間以内で表面乾燥する (5℃)	合格	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格	合格
隠ぺい率% (白および淡彩)	93以上	合格	—
	95以上	—	合格
鏡面光沢度 (60℃)	70以上	—	80
耐水性	96時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	96時間浸したとき、光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐アルカリ性	48時間浸したとき異常がないものとする	合格	—
	7日間浸したとき光沢保持率が65%以上で、塗面に異常がないものとする	—	合格
耐洗浄性	500回の洗浄に耐えるものとする	合格	—
	1000回の洗浄に耐えるものとする	—	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	光沢保持率が80%以上で、湿潤冷熱繰返しに耐えるものとする	—	合格
促進耐候性	白亜化の等級は1以下で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
	480時間の試験で光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1以下で、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格
屋外暴露 耐候性	12か月間の試験で、膨れ、はがれおよび割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	合格	—
	12か月間の試験で、白亜化の等級は2以下で、割れ、はがれ、膨れおよび穴がなく、色とつやの変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする	—	合格

■塗料性状・荷姿

塗料名	色 相	つ や ※	容 量	希釈剤	希釈率 (%)	使用量 (kg/m ² /回)	塗装方法
オーデコートGエコ	各色	つや有り、7分つや有り 5分つや有り、3分つや有り つや消し	15kg 4kg	水道水	0~10	0.13~0.15	はけ、ウルローラー エアレススプレー

※つや消しは淡彩色のみ。※7分つや有りも調色可能ですが、JIS品ではありません。

オーデコートGエコ 原色	容 量	色 名
	15kg・4kg	ブラック、インディアンレッド、オーカー、シャニンブルー、パーマネントエロー、シンカシャレッド

標準塗装仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	被塗面のごみ、ほこりを除去、清浄な下地とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー (ホワイト・透明)	1	0.10~0.16	4時間以上	水道水	ホワイト:0~10 透明:無希釈	はけ、ウールローラー
			0.12~0.16				エアレススプレー
上塗り	オーデコートGエコ	2	0.13~0.15 ^{注)}	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

鉄部

(注) 溶剤系で止めを使用する場合より、入念な下地処理を行ってください。下地処理が不十分な場合や薄膜で塗装すると早期にさびが発生することがあります。

下地調整	被塗面のごみ、ほこり、劣化塗膜を除去、清浄な下地とする。						
下塗り	水性ハイボンプライマー ^(注)	1	0.13~0.16 ^{注)}	4時間以上 7日以内	水道水	0~5	はけ、ウールローラー
上塗り	オーデコートGエコ	2	0.13~0.15 ^{注)}	4時間以上	水道水	0~10	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(編み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
 ※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
 ※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社までご相談いただきますようお願いいたします。
 注) ・「オーデコートGエコ」の塗付量は、0.12kg/m²/回です。
 ・「水性カチオンシーラー」の塗付量は、0.09kg/m²/回です。
 ・「水性ハイボンプライマー」の塗付量は、0.1 kg/m²/回です。
 ・使用量: 被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の使用質量
 ・塗付量: 被塗表面単位面積あたりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

コンクリート・モルタル用下塗り塗料

水性カチオンシーラー透明、水性カチオンシーラーホワイト、水性透明シーラー、水性透明シーラーII

鉄部下塗り塗料(さび止め)

水性ハイボンプライマー、ハイボンファインプライマーII、1液ハイボンファインデクロ、(使用するさび止め塗料の肌の違いにより、上塗り塗装後のエスパーワンエース 外観・光沢感に若干の差異が生じる場合があります。)

木部下塗り塗料

水性ウッドベースU、1液ファインウレタンU100木部下塗り

施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 蓄熱されやすい建材(軽質モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材等)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥がれていることがあります。そのまま塗装すると剥がれがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗膜環境など複数の条件が異なることで、建材の変形、塗膜の剥がれ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
2. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
3. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
4. 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
5. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、厚さ、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りを必ず確認してください。
6. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
7. 防藻・防かび・抗菌効果は、緊密な制御をするものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
8. 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。善しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。善しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
9. 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、剥がれ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強引剥がれなどで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。
10. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
11. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シーラーなどの溶剤では拭き取れず、せっけん水で洗浄してください。
12. スプレー・スリットの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
13. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
14. 動物の糞は、はけが固まったりダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
15. 濃彩色を塗装する際は、つやむらが目立ちやすくなるおそれがありますので、事前に試し塗りをしてご確認ください。ご使用ください。
16. JISK56631種(主として屋外用)の試験に合格する性能を有しておりますが、耐久性が必要な外壁には、外壁専用塗料をご推奨いたします。
17. 繊維質、耐火被覆用耐火セメント板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
18. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らぬように5℃以下で貯蔵、保管してください。
19. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
20. 風化面・吸込みの善しい下地では、ニッパ浸透性シーラー(新)、ニッパ液浸透性シーラー、ニッパファイブ浸透性シーラーを使用してください。
21. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
22. やにかきよく付着している場合は、ウエスなどでやみを拭き取って除去し被塗表面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をするまでやみ止め性があります。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗表面を十分に乾燥してから塗装してください。
23. タル系面への塗料の使用は被塗面に付着するおそれがあります。変色や早期劣化などを生じることがありますので、この様な場合には塗料が付着しない様に塗膜面の養生を行ってください。
24. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツト科学社製CH2型で測定した場合)、または5%以下(ケツト科学社製HI500型)で測定した場合)コンクリート・モルタルの条件で塗装してください。
25. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において果穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッパセメントプライマー、ニッパファイバー200)などで処理してください。(合成樹脂系マルチジョイントパテの使用は避けてください。)

26. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
27. 新設の押出成形セメント板、GFC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッパ浸透性シーラー(新)、ニッパ液浸透性シーラー、ニッパファイブ浸透性シーラーをお使いください。
28. 塗装後直ちに雨に濡れるような状況や手すりなどは、皮膚の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
29. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
30. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
31. 塗装時および塗装後に密閉し乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
32. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
33. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
34. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、取崩れなどの不具合を起すことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要処理を行ってください。また、ニッパプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、取崩れが起こることがあります。
35. 笠木、天端など長時間が滞留する箇所では塗膜の白化、剥がれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
36. 薄めすぎはぬれに力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
37. 上塗りに汚れたアイロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を塗りしてから塗装してください。
38. 顔色には必ず当社専用の原色をお使いください。
39. 濃彩色や付いた原色の場合、塗膜を軽く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。なお、状況により密閉容器をなるべく個所に使用する場合は、フラインジコロップリシュリヤーを上に塗りに塗って、クリアーのローラーおよび刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
40. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
41. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、塗膜、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
42. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが感じやすくなる場合があります。
43. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
44. 汚れ、さびなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
45. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄してください。
46. 可塑剤が多含まれる塩化ビニル鋼板、塩化ビニルネット、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩化ビニルなどへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
47. 腐食性や強酸性の液体に塗料が接触する場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや薬液によるピンホール、凹凸などを発生するおそれがあります。必要に応じて補修工程が必要になる場合があります。
48. 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
49. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
50. 塗料薄洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
51. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 <オーデコートGエコ 白>

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を読み取ってください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
5. 保護手袋・保護衣・保護眼鏡・保護面を着用してください。
6. 口をすずしてください。
7. 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
8. 吸い込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡してください。
9. 吸い込んだ場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後よく洗浄してください。
11. よく露またはよく露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けてください。
12. 肌の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
13. 施設して保管してください。

14. 直射日光や水濡れは厳禁です。
15. 塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
17. 容器がすり上げられてください。やむを得ずすり上げるときは、適切なつり具で、垂直に持ち上げ落下に十分注意してください。(偏重になると取っ手が外れ落下事故の危険があります)
18. 内容物/容器/容器/地方自治体の規制に従って産業廃棄物として廃棄してください。
19. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗った排水は、そのまま地面や排水溝に流す、と薬剤に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者へ処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 □詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 □本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告		危険有害性情報	強い眼刺激/発がんのおそれの疑い
----	--	---------	------------------

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2015 NIPPON PAINT CO.,Ltd All rights reserved.

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント

建物

検索

http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.

NP-T106

KE151110T

2015年11月現在